



OPMID TOP INDICATOR TACHOMETER

ITEM
M1304

品名：OPM トップインジケータ タコメーター 品番：M1304SV（シルバー）、M1304BK（ブラック） 対応：モンキー 125・CT125
OPM TOP INDICATOR TACHOMETER #M1304SV (Silver), #M1304BK (Black) for MONKEY125・CT125



●オートバイ整備の基本的な技能や知識をお持ちにならない方は作業を行わないください。●取り付けの際、車種ごとのメーカーサービスマニュアルと併せて作業を進めてください。●不正な取り付け、改造、仕様変更をしないでください。●異常を発見した場合は直ちに走行を停止し、点検してください。●仕様については予告なく変更する場合があります。

本製品の保証期間は6ヶ月です。お買い上げ日のわかる領収書もしくは納品書を本書と一緒に大切に保管してください。保証期間内に製造上の原因による品質不良がありました場合は、お買い上げの販売店様までご連絡ください。不良内容を確認のうえ、製品を修理もしくは交換させていただきます。ただし、本製品の修理・交換以外のいかなる事柄（物的損害、人的損害）に対して、弊社は賠償の責任を一切負いかねます。あらかじめご了承ください。

NOTE

スクリーンロック解除 Release screen lock



3秒間長押し
Hold for 3 sec

大雨など、多量の水濡れによる誤作動を防止するために本製品は常にスクリーンロックをかけています。3秒間タッチすることでロックを解除し、各種操作が可能になります。無操作で5分経過すると再びロックがかかります。To prevent malfunction caused by heavy rain, this product always keeps screen lock. Touch for 3 seconds to release the lock. It will be locked again after 5 minutes of no operation.

特徴 Features

7つのLEDのシフトライト付きタコメーターをアルミ削り出しアッパーホルダーにビルトイン。無加工で取り付けできるカブラーオン設計。アワーメーター・最高回転数記録・電圧計機能付き。タッチセンサー内蔵7セグ×4 グリーンLEDディスプレイ

- タコメーター：～19900rpm
- 最高回転数記録
- アワーメーター：～9999H
- 電圧計：8V～18V
- 7セグメント×4 グリーンLED透過式ディスプレイ
- タッチセンサー式操作ボタン（右前面）
- 本体サイズ：W57mm×H29mm×D10mm
- 防水規格IP66に相当（あらゆる方向からの噴流水による有害な影響がない）
- 安定動作電圧：DC10～16V
- Tachometer：～19900rpm
- Max.RPM record
- Hour meter：～9999H
- Volt meter：8V～18V
- Display：7 Seg×4 Green LED
- With Touch sensor (Right front)
- Size：W57mm×H29mm×D10mm
- Waterproof cord：IP66
- Operating voltage：DC10～16V

※AC12Vに接続しても壊れませんが、周波数が低い（低RPM）時は正常に動作しません。

シフトライト Shift light



タッチセンサー Touch sensor

NOTE
右下の点の点灯で
タッチの反応をします。



操作手順 Operating procedure

キー ON Key switch ON

起動画面 Startup screen



OPOPがスクロール
OPOP scrolls

4秒後
after 4 sec

スタートアップ電圧計 Startup voltmeter



10秒後
after 10 sec

以下の操作にはスクリーンロックの解除が必要です。
Necessary to release screen lock.

タコメーター Tachometer



～19900RPM



9990 RPM以下は10 RPM単位
10 RPM units for 9990RPM or less



10000 RPM以上は100 RPM単位
100 RPM units for 10000 RPM or more

最高回転数 Max. RPM



～19900RPM

アワーメーター Hour meter



～9999H

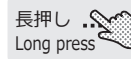
電圧計 Voltmeter



8.0V～18.0V



モードの切り替え
Changing mode



記録消去 / 設定に入る
Erase/ Enter Adjust

初期設定モードに入る Enter Initial adjust

次ページに記載
to next page

起動時に電圧を設定秒数表示してからタコメーターに切り替わります。タッチをしてすぐに切り替えることも可能。
After the "startup voltmeter display seconds" have elapsed (or touched), it switches to Tachometer mode.

シフトライトの設定 Adjusting of Shift light

LED1 粒当たりの回転数単位 Unit of RPM per 1 LED



▷ ● 500 RPM または ◎ 1000 RPM

赤色 LED の点灯するタイミング Red LED lighting timing



● 500 RPM : ▷ 3000～18500 RPM
◎ 1000 RPM : ▷ 5000～17000 RPM



数値を変える
Changing value



記録のリセット Erase the record

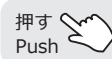
エンジンの稼働時間計。
0.0～999.9時間：0.1時間＝6分単位 0.0～999.9hour：unit 0.1 hour
1000～9999時間：1時間単位 1000～9999hour：unit 1 hour

記録のリセット Erase the record

スタートアップ電圧計の秒数設定 Adjusting of startup voltmeter display seconds



▷ 5秒～60秒、OFF



数値を変える
Changing value

起動画面 Startup screen

起動画面中（OPOP スクロール）にタッチし、ADJ の表示が出たら指を離します。
Touch the startup screen (OPOP scrolls). Release the finger when ADJ display appears.

キー ON
Key switch ON

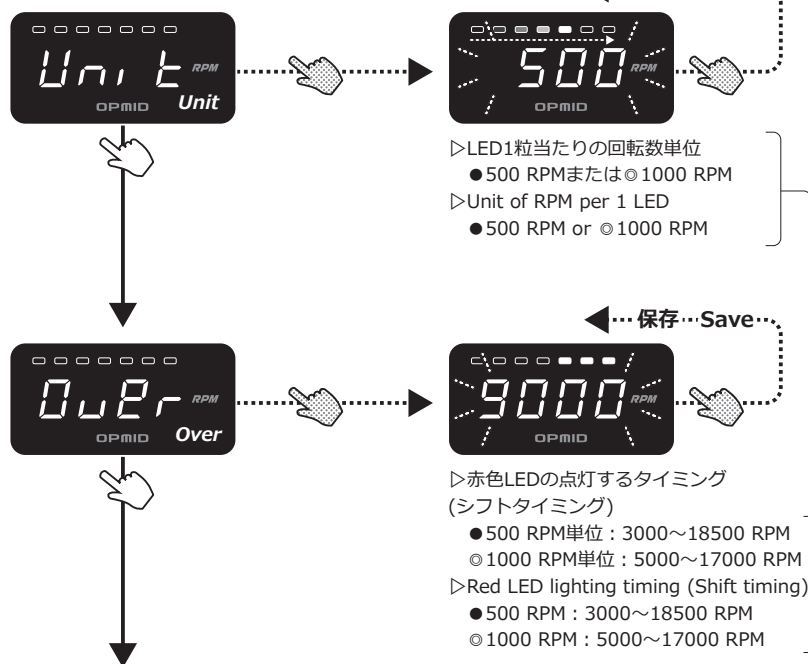


長押し
Long press

初期設定モードに入る—Enter Initial Adjust mode



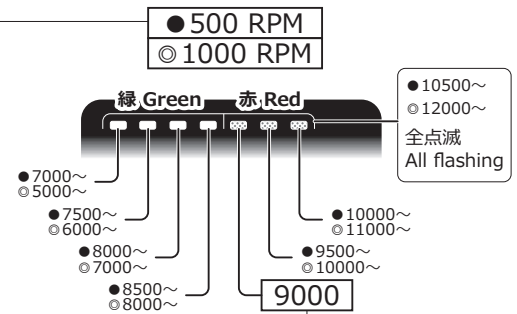
シフトライト Shift light



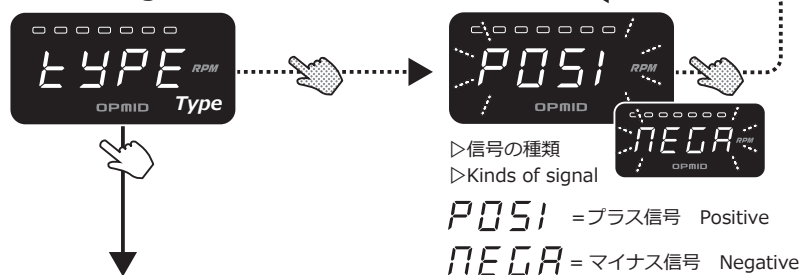
NOTE

例

- 500 (◎ 1000) RPM単位でシフトタイミングを9000RPMに設定した場合、シフトタイミングの● 2000 (◎ 4000) RPM手前 = ● 7000 (◎ 5000) RPMから緑が点灯し始め、9000RPMから赤が点灯する。
 - 10500 (◎ 12000) RPMを超えると全点滅します。
- Example)
● If the shift timing is set to 9000 RPM in units of 500 (◎ 1000) RPM,
Green lights at 2,000 (◎ 4000) RPM before shift timing = ● 7000 (◎ 5000) RPM, and Red lights at 9000 RPM.
● All blinks when over 10500 (◎ 12000) RPM.



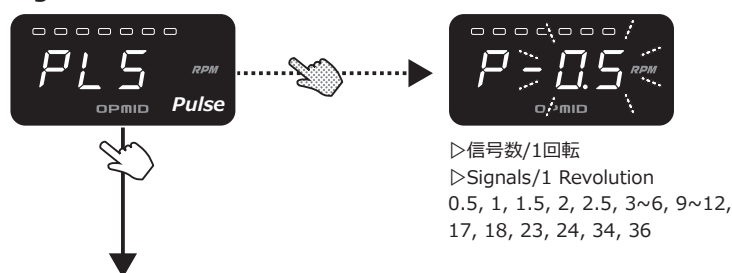
信号の種類 Kinds of signal



NOTE

モンキー 125 はプラス信号 (POSI) を選んでください。
For Monkey 125, select the Positive (POSI).

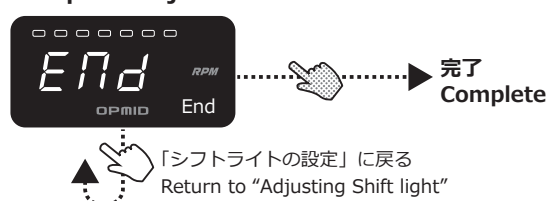
信号数 Signals



NOTE

モンキー 125 は P-0.5 を選んでください。
For Monkey 125, select P-0.5.

設定を完了する Complete adjustment mode



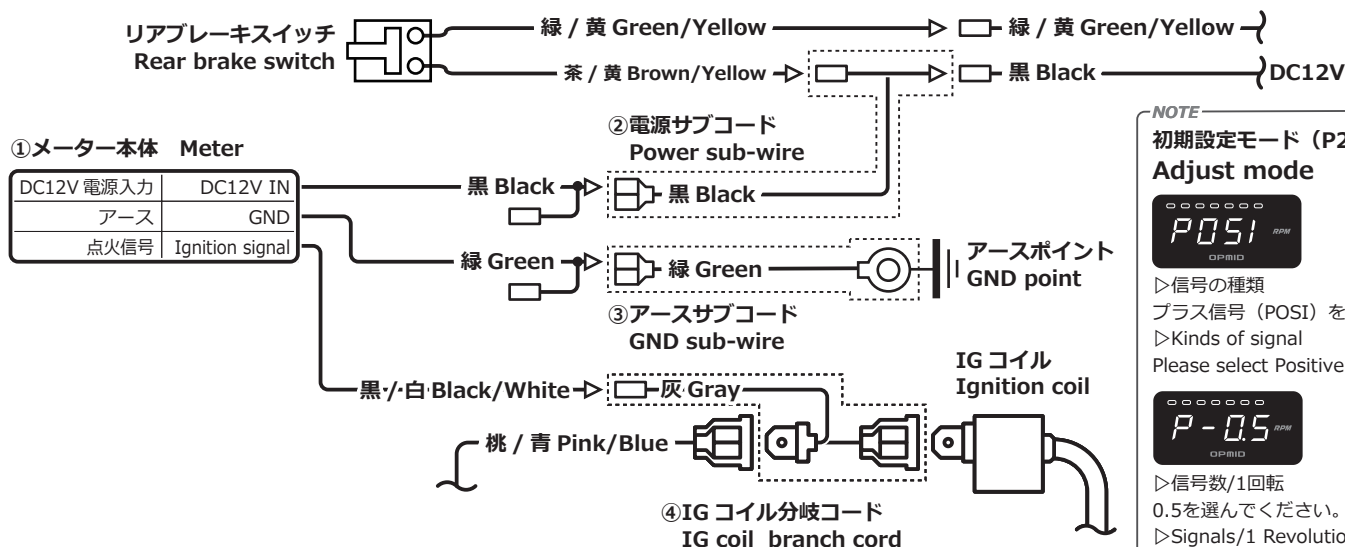
「シフトライトの設定」に戻る
Return to "Adjusting Shift light"



キット内容 Kit contents

①	メーター本体 (アッパーホルダー付き)	Meter (W / Upper Holder)	x1
②	電源サブコード	Power sub-wire	x1
③	アースサブコード (150mm)	GND sub-wire	x1
④	IG コイル分岐コード (500mm)	IG coil branch wire	x1
⑤	結束バンド (200mm)	Cable ties	x3

配線図 Wiring diagram



NOTE

初期設定モード (P2) Adjust mode

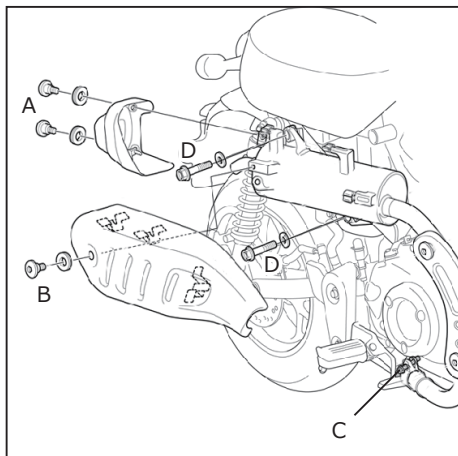


▷信号の種類
プラス信号 (P05I) を選んでください。
▷Kinds of signal
Please select Positive (P05I).

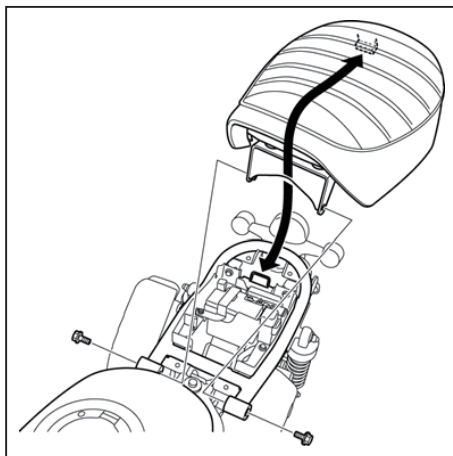


▷信号数/1回転
0.5を選んでください。
▷Signals/1 Revolution
Please select 0.5.

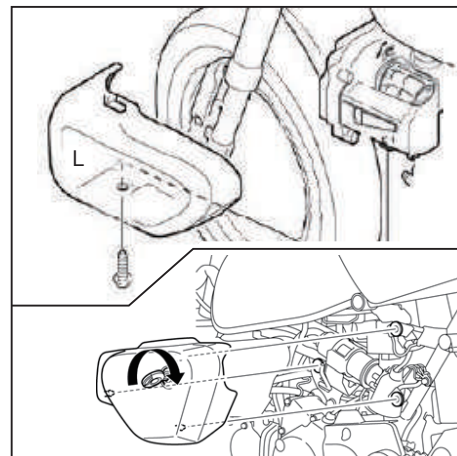
本体の取り付け Mounting Main unit



スクリー2本 (A) を外し、テールキャップを外す。
スクリー1本 (B) を外し、ガードを後方にずらして外す。マフラーバンドボルト (C) を緩める。
スクリー2本 (D) を外し、サイレンサーを外す。
Remove 2x screws (A) and remove Tail cap.
Remove 1x screw (B) and remove Heat guard.
Loosen muffler band bolt (C).
Remove 2x screws (D) and remove Silencer.



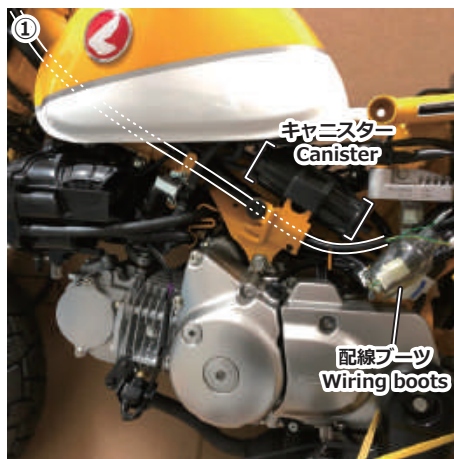
スクリー2本を外し、シートを外す。
Remove 2x screws and remove Seat.



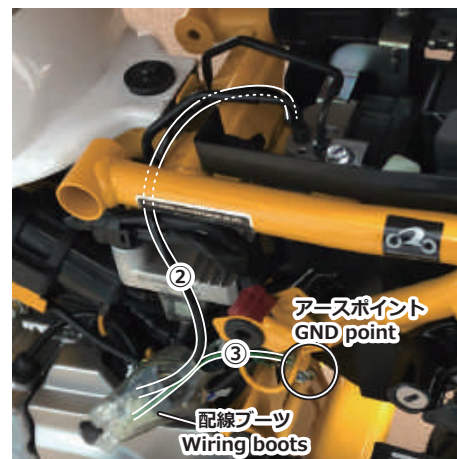
スクリー1本を外し、左のガーニッシュを前にずらして外す。
キーを時計回りに回したまま、サイドカバーを手前に引き出す。
Remove 1x screw and remove Garnish (left side) forward.
While turning Key clockwise, remove Side cover.



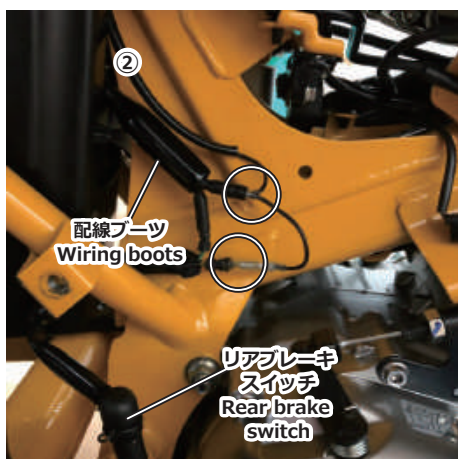
アッパーホルダーのポンチマークをフロント側に向け、純正キャップ 4 個、純正ソケットボルト 4 本を再利用して取り付け。ポンチマーク側のボルトから締め付ける。キーシリンダーの前方にコードを回し、メインハーネスに沿わせる。
Point the punch mark of Upper holder toward the front side. Torque (27 N · m)
Turn the cord forward of Key cylinder and make it along Main harness.



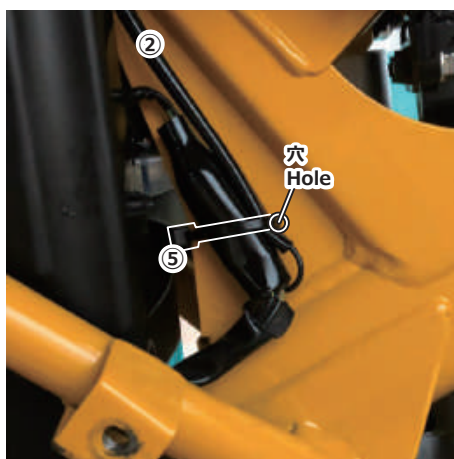
チャコールキャニスターを上にはずらす。
①メーター本体のコードをフロントフォークの内側から配線ブーツの辺りまで、メインハーネスに沿わせていく。
Move Charcoal canister up.
Keep ①Meter wire along main harness to vicinity of Wiring boots.



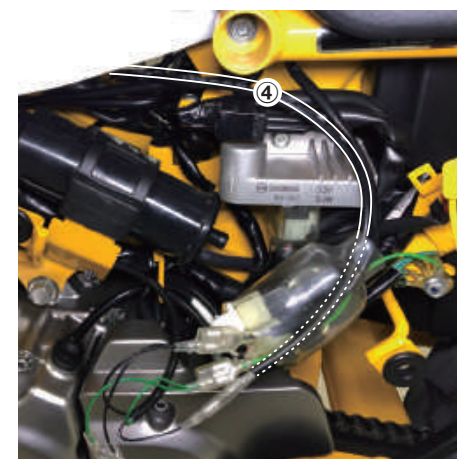
②電源サブコードと③アースサブコードを配線ブーツに通す。
②電源サブコードをタンク後方から車体右側に回す。
③アースサブコードをアースポイントに共締めする。
Pass ②Power sub-wire and ③GND sub-wire through Wiring boots. Turn ②Power sub-wire to right side of motorcycle from the back of Fuel tank. Attach ③GND sub-wire to GND point.



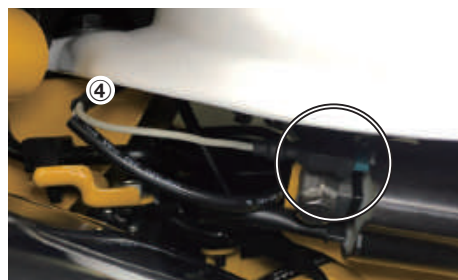
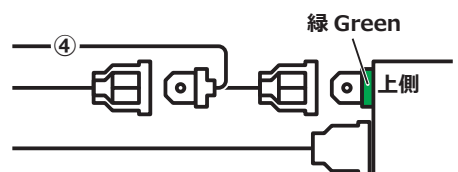
配線ブーツを上にはずらし②電源サブコードをリアブレーキスイッチの黒コードの接続端子間に割り込ませる。
Insert ②Power sub-wire between Connecting terminals of Black wire of Rear brake switch.



接続したコードを配線ブーツに押し込む。
※ブーツの内側を水で少し濡らすと押し込みやすくなります。
フレームの穴を利用し、⑤結束バンドで配線を固定する。サイレンサーへの接触を防ぎます。
Push the connected cord into Wiring boots. Wetting the inside of boots with water makes it easy to push. Using the hole in Frame, fix the wiring with ⑤Cable tie. Wetting the inside of boots with water makes it easy to push. Using the hole in Frame, fix the wiring with ⑤Cable tie.



④IGコイル分岐コードを配線ブーツに通す。
④IGコイル分岐コードをタンクの下から車体右側に通す。
Pass ④IG coil branch wire through the wiring boot. Pass ④IG coil branch wire from under Fuel tank to right side.



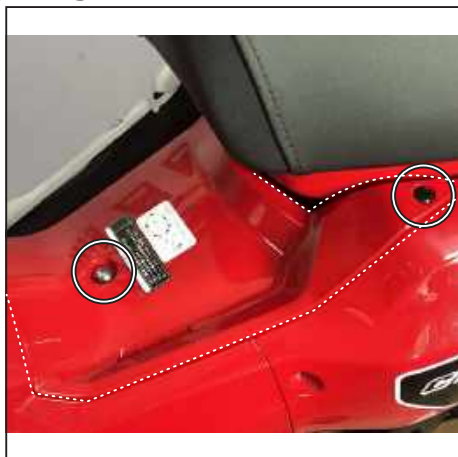
④IGコイル分岐コードをイグニッションコイルの上側のコネクタに割り込ませる。
Insert ④IG coil branch wire into connector on the upper side of IG coil.



接続したコードを配線ブーツに押し込む。
Push the connected wires into Wiring boots.

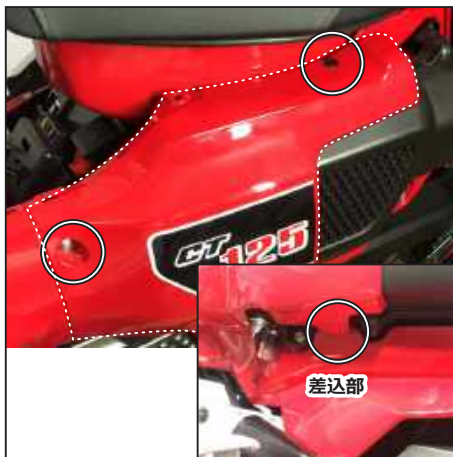


キーを回すと、まず電圧計を表示してからタコメーターに切り替わります。
When turning the key, first Voltage is displayed and then switch to Tachometer .



1本のスクリーンとトリムクリップ（長）を外し、センターカバーを外します。

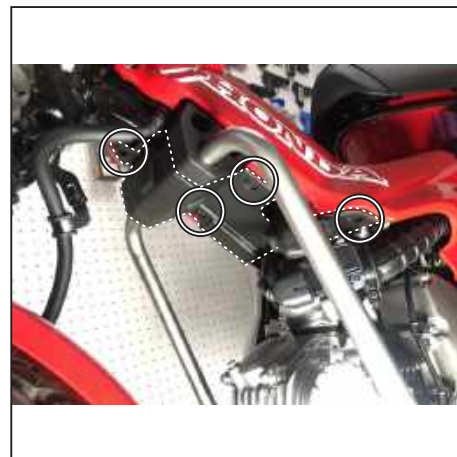
Remove 1x screw and 1x trim clip (long) and remove Center cover.



スクリーン1本とトリムクリップ（長）1本を外し、エアクリーナーガーニッシュを外します。

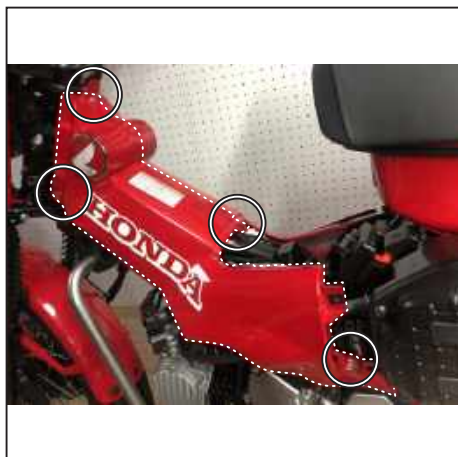
※下部に差込部があります。

Remove 1x screw and 1x trim clip (long), and remove Air cleaner garnish.



トリムクリップ（短）を4本外し、メインパイプロアカバーを外します。

Remove the 4x trim clips (short) and remove Main pipe lower cover.



スクリーン3本と、トリムクリップ（短）1本を外し、左メインパイプカバーを外します。

Remove 3x screws and 1x trim clip (short) and remove Left main pipe cover.



スクリーン2本を緩めて、コネクティングチューブを外します。

Loosen 2x screws and remove Connecting tube.



スクリーン1本と、トリムクリップ（短）1本を外し、右ボディカバーを外します。

※後方から順にロックを外していきますが、新車時はとても硬いです。カバーを外さず下の隙間から作業することも可能です。

Remove 1x screw and 1x trim clip (short) and remove Right body cover.



アッパーホルダーのポンチマークを前方に向け、純正ソケットボルト 4 本を再利用して取り付けます。ポンチマーク側のボルトから締め付けます。キーシリンダーの右側にあるブレーキスイッチコードのガイドにメーターのコードを通します。

With the punch mark facing forward, reuse the 4x genuine socket bolts to attach.

Tighten the bolt on the punch mark side first.



メーターコードをトップブリッジ下からバッテリー付近までメインハーネスに沿わせていきます。

Run the meter cord along the main harness from under the top bridge to near the battery.



右メインパイプカバーのクランクケース上の2本のスクリーンを外します。

※カバーを少し浮かせて作業し易くします。カバーを完全に外すと作業性がさらに良くなりますが、マフラー一式を外す必要があるため、省略します。

Pull out Rear brake switch wire with wiring boots from behind Fluid tank.

CT125



リアブレーキスイッチコードのプラス側（車体側コード色が黒）の間に②電源コードを割り込ます。

※マイナス側は緑/黄コードです。よく確認してください。

Pull out Rear brake switch wire with wiring boots from behind Fluid tank.



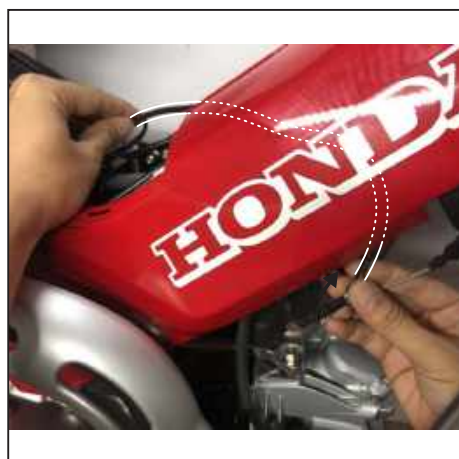
フレームとの隙間を少し広げて、右メインパイプカバーの内側に下から②電源コードを通します。

Push the connected cord into Wiring boots.
Wetting the inside of boots with water makes it easy to push.



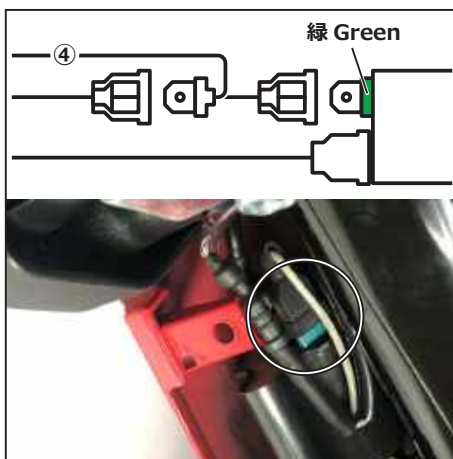
レギュレートレクチファイアの固定ボルトに③アースコードを共締めします。

Tighten ③GND wire together with Fixing bolt of Regulate rectifier.



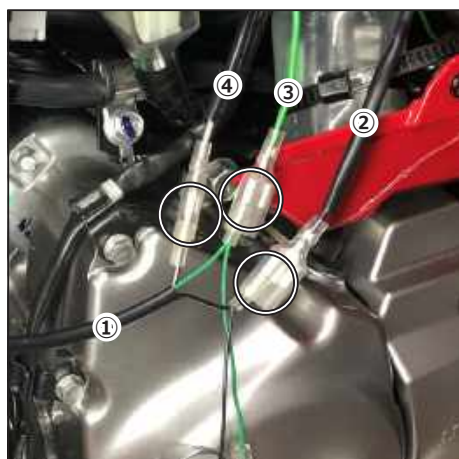
右メインパイプカバーの隙間から、イグニッションコイルまで、④IGコイル分岐コードを通します。

Pass ④ IG coil branch wire through gap in Right main pipe cover to IG coil.



④IGコイル分岐コードをイグニッションコイルの緑端子側（桃/青コード）に割り込ませます。

Insert ④IG coil branch wire into green terminal side (Pink/blue) of IG coil.



①タコメーターの黒コードを②電源コードに、緑コードを③アースコードに接続する。

①タコメーターの黒/白を④IGコイル分岐コードに接続します。

Connect Black wire of ①Tachometer to ②Power wire and Green wire to ③GND wire. Connect Black/White of ①Tachometer to ④IG coil branch wire.



⑤結束バンドを使いコードを束ね、画像の位置に収めます。

これで完成です。逆の手順で組み立てます。

Use ⑤ Cable tie to bundle wires together and place them at the image position.

Assemble in reverse order.